

サントリーの歴史

“やってみなはれ”

サントリーグループの歴史をつくってきたのは、常に果敢なチャレンジ精神でした。誰もやらなかったことに挑む。常識を疑い視点を変え、考えぬいて、ひたむきに行動する。失敗や反対を恐れず、ひたすら挑戦しつづける。新しい市場創造も、新たな価値提供も、そんな情熱から生まれました。『やってみなはれ』は、現在も未来も、わたしたちの事業の原動力となる価値観です。

事業の歴史



創業者・鳥井信治郎、鳥井商店を開業し、ぶどう酒の製造販売を始める

環境・文化・社会活動の歴史

“利益三分主義”

わたしたちの事業は、お得意先やお取引先、そしてこの社会のおかげで成り立っています。だから、事業で得た利益は、「事業への再投資」にとどまらず、「お得意先・お取引先へのサービス」や「社会への貢献」にも役立てていこう。そんな思いを言葉にしたのが『利益三分主義』です。「おかげさまで」の心で、事業の成功をステークホルダーや社会全体と分け合い、互いに発展・成長していける関係づくりに全力を注ぐこと。これもまた、サントリーグループ不変の価値観です。

1921

株式会社寿屋を創立



1923

日本初のモルトウイスキー蒸溜所・山崎蒸溜所着工。国産ウイスキー製造への第一歩を踏み出す



1929

日本最初の本格ウイスキー「サントリーウイスキー白札」発売

1937

「サントリーウイスキー角瓶」発売

1920s

1921

社会貢献のための組織「邦寿会」設立



無料診察と施薬を目的として、大阪市に「今宮診療院」を開設

1940s

1946

食品化学研究所設立（現 公益財団法人 サントリー生命科学財団）



1960s

1961

サントリー美術館開館



1969

鳥井音楽財団設立（現「公益財団法人 サントリー芸術財団」）

1980s

1973

「サントリーの愛鳥活動」



1979

サントリー文化財団設立（現「公益財団法人 サントリー文化財団」）

1986

サントリーホール開館



2004



世界初バイオテクノロジーを用いた「青いバラ」の開発に成功

1996

「セサミンE」を発売、健康食品事業に本格参入



1972

飲料・食品の販売会社である「サントリーフーズ株式会社」設立

1973

白州蒸溜所開設



2005

「ザ・プレミアム・モルツ」が第44回「モンドセレクション」のビール部門で日本初の最高金賞を受賞



2009

フランスの清涼飲料メーカー「オランジーナ・シュウェップス」がグループに加わる



2000s

2003

サントリー「天然水の森」活動開始



2004

サントリー次世代環境教育「水育(みずいく)」開始

2013

「サントリー食品インターナショナル」東証1部上場



2014

「ビームサントリー」社設立



2010s

2014

「サントリー環境ビジョン2050」策定

2015

サントリー次世代環境教育「水育」を海外では初となるベトナムで活動開始

2017

サントリーグループ『水理念』策定